

千葉県コミュニティセンター新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

【利用者における感染防止策】

- 利用前に検温を実施する。
- 以下の症状等がある場合は、来館を控える。
 - ・発熱37.5度以上あった場合（または平熱比1度超過）
 - ・息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさや、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合。
- 施設内では、咳エチケット、マスクの着用、手洗い・手指の消毒を徹底する。
- 施設内では、人と人との距離を最低1m（できれば2m）確保する。
- 利用の前後に手洗い、消毒などの手指衛生を行う。
- 近距離での会話や発声、高唱は避ける。
- 「3つの密」を徹底的に避ける。
 - ・施設が定める定員を守る。
 - ・互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声は避ける。
 - ・利用中は窓を開放する。（可能であれば2方向）
 - ※外気温が低いときは、室温の低下に伴う健康への影響を防止するため、居室内の温度及び湿度を一定程度以上に維持できる範囲内で、一方向の窓を常時開けて、連続的に換気を行う。（厚生労働省作成「冬場における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法」参照）
- 後日、感染者の施設利用が判明した場合に備え、すべての利用者に連絡が取れるよう、利用毎の参加者名簿を作成し、保管する。
- 飲食を伴う利用の際には、~~対面での飲食としないようにするほか、最低1m（できるだけ2mを目安に）の間隔を開けて座席を配置する。飲食時は会話を避け、会話はマスクを着用して行う。~~
館内での飲食は控える（水分補給は除く）。
昼食時間を跨ぐ利用や近隣に食事に適した場所がない場合など、やむを得ず館内で食事をする場合は、以下の点を徹底する。
 - ・できる限り短時間で、決められた場所において食事をする。
 - ・食事の前後は、手洗い・手指の消毒を行う。
 - ・対面での食事としないようにし、人と人との距離を最低1m（できるだけ2mを目安に）の間隔を開ける。
 - ・食事中の会話を避け、会話の時はマスクを必ず着用する。
- 接触、飛沫感染リスクの高い活動を行う際には、国や関連する業界団体等が作成する感染拡大予防ガイドラインに基づく対策を講じる。
- 運動時等でマスクをしていない時は、大きな声で会話や応援等を行わないとともに、他の利用者（グループ）との十分な距離（少なくとも2m以上）の確保や咳エチケットを徹底すること。また、休憩時や着替え時など運動をしていない時や会話をする際にはマスクを着用する。

別 紙**【合唱、コーラス、社交ダンス等利用時の注意事項】**

(1) 発声を伴う活動（飛沫感染リスクの高いもの）

合唱・コーラス、詩吟、軽音楽（歌唱あり）、民謡・謡曲、演歌・歌謡、カラオケ、ジャズ・タンゴ等

<注意事項>

ア 歌唱者間の距離は前後 2 m 以上、左右 1 m 以上確保し、向かい合う配置は避ける。

イ 指導者・伴奏者との距離を確保する。

ウ マスクを着用する。※

※フェイスシールド、マウスシールド、下部の開放が広いマスク等の隙間がある形状のものだけの着用は不可

エ 体操等のウォーミングアップは身体的接触をしないように注意する。

オ 連続した練習は 30 分以内とする。

カ 楽譜・プリントなどの共有を避ける。

キ 窓を開け常に換気を行う。

(2) 身体接触を伴うもの（接触感染リスク高いもの）

社交ダンス、フォークダンス、空手、柔道、剣道、合気道、少林寺拳法

<注意事項>

ア 特定のペアで練習し、ほかのペアとは 1～2 m 以上離れる。

イ マスクを着用する。※

※フェイスシールド、マウスシールド、下部の開放が広いマスク等の隙間がある形状のものだけの着用は不可

ウ 連続した練習は 10～15 分以内とする。

エ 物品の共有は避ける。

オ 窓を開け常に換気を行う。

カ 大声で話さず静粛を保つ。